

<令和7年度の重点>

○義務教育学校の特色を生かした教育課程の編成し、PDCAサイクルを確立する

- ・本校の特色を生かす

：地域の教育力 ：異年齢交流 ：外国語活動 ：制服自由化

○社会に開かれた教育課程 学校を核とした地域づくりの推進

「地域に教育内容・課題・成果を発信し、地域の教育力を活用する」

- ・コミュニティ・スクールの一層の推進と地域学校協働本部との連携を強化する
- ・地域学校協働活動を意図的・計画的に教育活動の中に取り入れていく
- ・外国語科・外国語活動を通じてアメリカ・オーストラリアの学校と交流する
- ・学校ホームページをPRし、本校の教育活動を内外に広める

○学力向上

学校課題研究「非認知能力の向上～自己効力感に特化した指導～」の推進

- ・講師を招聘し、年間を通じた研修を行う
- ・主体的・対話的で深い学びを軸に魅力ある授業をつくる
- ・後期課程の教員による3、4、5、6年生の教科担任制の導入

※タブレット端末を活用した思考を深める授業

○異年齢交流活動の促進

「憧れと尊敬の念を育む」

- ・昨年度の評価を生かし、学校行事等、意図的・計画的に交流の機会を設定する
- ・感動と成就感が得られる豊かな体験活動を実施する
- ・児童生徒会が企画した異年齢交流活動を意図的・計画的に実施する

※小学校5年生からの部活動の参加（任意）

○校内研修の充実

「教職員の資質・能力の向上を図るために、子どもの学びの向上に繋がる研修を実施する」

- ・自分事として捉えた研修を、計画的・組織的・継続的に行う。

○児童生徒会活動

「異年齢の児童生徒同士で協力しながら諸課題を解決する中で、自治力を高めていく」

- ・異年齢交流活動を児童生徒会に企画運営させ、自治力を高めていく
- ・生徒会スローガンの制定